

和地ひとみレポート No.165

戦後70年の節目の年・・・8月は平和月間 東大和市でも様々な平和事業を実施

■平和都市宣言をしている東大和市

…今年には戦後70年の節目の年。メディアでも様々なところで取り上げられ、特集なども組まれています。8月は東大和市「平和月間」です。毎年8月を中心に東大和市では戦争の悲惨さを風化させない、そして、平和の尊さを再確認する様々な事業が行われます。戦後70年の節目となる今年にはさらに内容を充実させた事業が予定されています。

…さて、東大和市は平成2年10月1日に下記の内容で平和都市宣言をしています。

【東大和市平和都市宣言】

恒久平和の実現と、核兵器の廃絶は、全人類共通の願望である。世界の世論のたかまり、各国の相互理解により、核兵器の廃絶にむけて曙光が見えてきたとはいえ、依然として地球上には多くの核兵器が貯えられている。世界で唯一の核被爆国の国民として、また、国際社会の平和と協調を理念とする憲法をもつ国の国民として、人類の安全と幸福のために、地域紛争を含むすべての戦争の防止と、あらゆる核兵器の廃絶を心から願うものである。

ここに、平和を愛する全世界の人々と手を携えて、戦争と核兵器のない世界の建設にむけて努力することをあらためて誓い、東大和市が平和都市であることを宣言する。

…また、東大和市は平成22年10月に「平和首長会議」にも加盟。昭和57年(1982年)6月24日ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会で、当時の広島市長が世界の都市が国境を超えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こうと「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱。これを受け、広島・長崎両市長から世界各国の市長宛てにこの計画への賛同を求め、その趣旨に賛同する都市(自治体)で構成された機構が「平和首長会議」です。現在、世界160カ国・地域6,733都市が賛同しており、東大和市もその自治体のひとつです。

■東大和市の平和事業

…東大和市は毎年、市民の戦争体験記や小学校高学年の児童と中学生が書いた「平和について」の作文をまとめた『平和文集』の作成や『平和市民のつどい』などの平和事業を行っています。『平和市民のつどい』は、都立東大和南公園内の旧日立航空(株)変電所前で執り行われます。東大和市は平成7年にこの変電所を市の文化財に指定。保存に努め、「西の原爆ドーム、東の変電所」と言われるよう、数少ない戦災建物の代表的なものとして多くの人に知っていただきたいと考えており、今年には新しいちょこバスのデザインに組み入れたり、変電所の写真入りの名刺を作成しています。



【3回の空爆による沢山の銃弾の跡が残る変電所】

■中学生の広島平和記念式典への派遣

…今年の特別な平和事業としては「地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業」が挙げられます。これは、東京都市長会の「多摩・島しょ広域連携活動助成金」を活用して行われるものです。この助成金は名前のおり連携の事業が対象。今回のこの事業については、東大和市が東村山市にお声がけをしたことで実現しました。

…この事業の趣旨は「中学生が自分達が住んでいる身近な地域でさえも戦争の脅威にさらされていたことを学習するとともに、世界で初めて核兵器が使われた広島市の惨状の記録と記憶を実際に見聞することで、戦争の悲惨さと命の尊さについて考え、平和意識の高揚を図る」とされています。今回の参加者は広島市の平和記念式典にも参加。広島市を訪れることはあっても、平和記念式典への参加はなかなかありません。参加する中学生にとっては貴重な体験となることと思います。

【地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業概要】

・募集人員：30名(東大和市15名、東村山市15名)

・参加費：1万円

・スケジュール

①地域の戦争・平和学習会(7月24日)

バスに乗り、東村山市ふるさと歴史館、旧日立航空(株)変電所、東大和市郷土博物館を見学後、グループワーク

②広島派遣(8月5日～7日：2泊3日)

被爆者体験講話、広島平和記念式典参加、原爆ドーム見学、海上自衛官OBの案内で呉湾を見学、大和ミュージアム、海上自衛隊資料館見学、灯籠流し、広島平和記念資料館見学、国立広島原爆死没者追悼平和記念館見学

③報告会準備(8月11日)

④報告会

東大和市：8月15日 東大和市平和市民のつどい

東村山市：8月30日 東村山平和のつどい

(裏面に続く)

■戦争体験者の声を映像で残す

…戦後 70 年となった今、戦争を体験された方々も高齢となっています。そこで今年、市は「市内での第二次世界大戦の戦前、戦中の体験談を語ることができる方」「旧日立航空機(株)変電所に勤務していた方で、体験談を語ることができる方」を募集。戦争の悲惨さを風化させないために、体験談を映像で残す取り組みを行っています。

…また、毎年開催される『平和市民のつどい』の内容も、今年は充実させるとのこと。予算についても例年より約 50 万円アップしています。昨年は、旧日立航空機(株)変電所の内部公開や東大和市少年少女合唱団のコーラス、国立音楽大学の学生の演奏による平和コンサートといった例年の内容の他に、高校生による朗読劇が加わり、「平和の大切さを再認識する集い」という意義がより濃くなった良い内容でした。



東大和市「平和月間」
シンボルマーク

…今年はさらに、前述の中学生の広島派遣の報告発表、戦争体験を語っていただいた映像の上映、平和祈念キャンドルの制作と点灯などの企画も予定されています。

この『平和市民のつどい』の式典は 17 時 35 分から。夕暮れ時にライトアップされた変電所や平和祈念のキャンドルを灯した光景を是非多くの市民の方に見ていただき、平和の尊さを考えるひと時としていただけたらと思います。また、ここで取り上げた事業の他にも、8 月を中心に下記のとおり市内の各所で平和事業が展開されます。平和が当たり前となった今の日本ですが、多くの市民の方に平和事業に触れていただき、戦争の悲惨さを風化させない、そして忘れない機会としていただきたいと思います。

【H27 年度 東大和市 平和月間 事業】

	開催日時	開催場所	内容
企画展示「戦後 70 年 ～私たちのまちは戦場だった～」	7 月 11 日～9 月 6 日 9:00～17:00 (休館日は除く)	郷土博物館	戦争資料の展示
平和祈念・戦争資料展: 広島・長崎被爆写真パネル展	8 月 1 日～8 月 31 日 正午～18:00	玉川上水駅北側 東大和市 ふれあい広場	広島・長崎被爆写真パネルの展示 広島平和公園内「原爆の子の像」へ送る折り鶴の制作
非核・平和図書展	8 月 1 日～8 月 24 日 (各図書館の休館日は除く)	中央図書館 桜が丘図書館 清原図書館	非核・平和に関連する資料の展示・貸出 【テーマ】戦後 70 年
講演会: 日本の戦争遺跡の調査研究と保存	8 月 9 日(日) 14:00～16:00	中央公民館 ホール	東大和市や多摩地域を中心として、戦争遺跡の保存の全国的な現状と戦後 70 年における課題についての講演 講師:十菱駿武 (戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)
変電所特別公開	8 月 11 日～8 月 23 日 14:00～17:00 (8 月 17 日を除く) (15 日の平和市民のつどいの日は 20:00 まで)	都立東大和南公園内	旧日立航空機(株)変電所の特別公開
戦争と平和について考える見学会	8 月 14 日(金) 8:20～16:20	埼玉ピースミュージアムほか	・バス見学会 定員:40 名 ・対象:小学生(3 年生以下は保護者同伴) 問い合わせ先:中央公民館 TEL:564-2451
第 11 回 平和市民のつどい	8 月 15 日(土) 17:35～19:40	都立東大和南公園内 平和広場 (変電所周辺)	・平和文集の配布、日本国憲法の配布 ・平和コンサート ・戦争体験の朗読劇 ・中学生の広島派遣事業報告会 ・平和祈念キャンドルの点灯 など

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」
【プロフィール】



1970 年 東京都北区生まれ。父の転勤で 1 歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を 2 年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011 年 4 月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102